

綾部市立綾部中学校

生徒・教員・地域の well-beingを 目指した学校改革



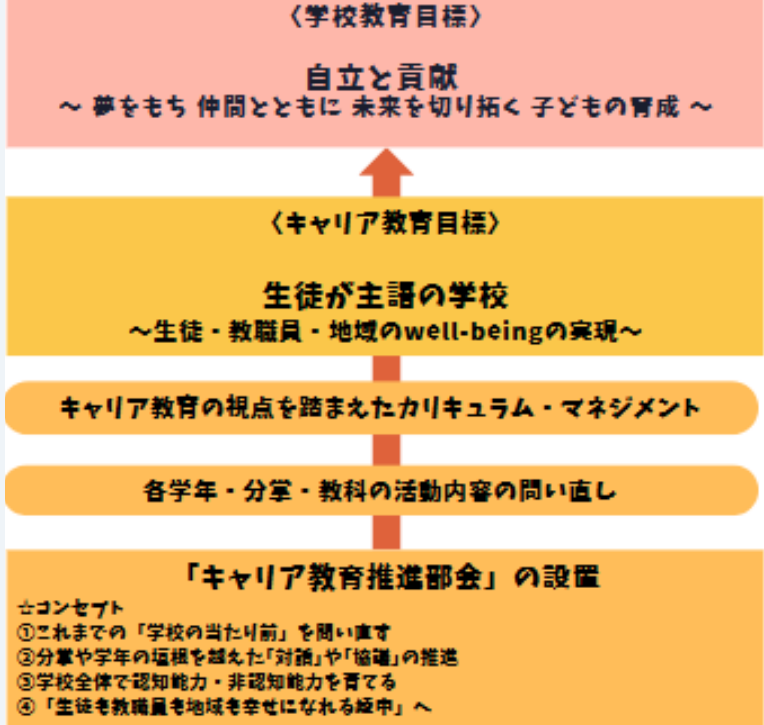
課題

2019年～2022年

コロナ禍の教育活動

- ・生徒同士の関わりに制限がかかる
- ・学力保障の難しさや学校行事の縮小

やりたくてもできないもどかしさ



生徒の認知能力・非認知能力を育む学校の実現に向けて、キャリア教育の視点で学校改革を実施。授業、総合的な学習の時間、学校行事を柱に、これまでの当たり前を見直し、目的や意義を振り返る機会を設定する。

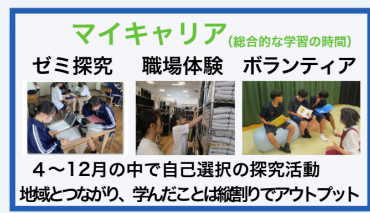
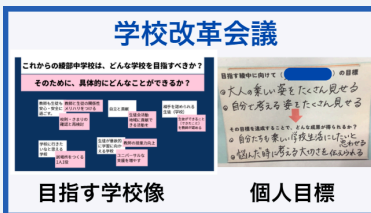
学年や分掌の枠を超えて、生徒の実態に合わせた活動を企画、協議する。ボトムアップ式に企画を提案し、全職員で企画を練り合う。生徒の声も聞きながら実践に移す。

改革



2023～2024年

- 第1回 次年度の総合的な学習の時間
- 第2回 学校行事（体育祭・合唱会）改革
- 第3回 人権学習・道徳の充実
- 第4回 新しい給食・清掃活動の提案
- 第5回 学校行事に関わる全体協議
- 第6回 職場体験・総合年間計画
- 第7回 1学期中間テストの見直し
- 第8回 運営委員会・職員会議の活性化
- 第9回 校内研修のあり方
- 第10回 学活年間計画・生徒会選挙



カリキュラム・マネジメントを実施し新しい年間計画を立案する！

3年間の学校改革を通して、「学校へ行くのは楽しい」と回答した生徒が昨年度より増えたことや、学校改革に対して肯定的な回答をした教職員が多かったことなどの成果が見られた。急激な社会の変化に対して、学校も柔軟に教育活動を見直し、生徒の成長につながる学校改革を続けていきたい。

結果

「生徒が主語の学校」に向けて、綾部中学校の改革が進んでいると思う。

当てはまる	92%
-------	-----

学校教育目標や「生徒が主語の学校」に向けて、自分ごととして協議に参加した。

当てはまる	96%
-------	-----

来年度も教育活動について教職員や生徒で協議していく機会があるとよい

当てはまる	96%
-------	-----

④学校へ行くのは楽しい
※1年生は今年5月の結果と比較

	R6.5	R7.10
1年生	80%	92%
2年生	82%	87%
3年生	69%	81%

生徒が学校に通いたくなる、教職員も働く意欲が高まる、地域の誇りになる、そんな学校を目指して！